

令和2年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・地図やグラフを見て考える機会を増やし、じっくり考える時間を確保した結果、観察・資料活用の技能の力が伸びた。

(2) 課題

- ・地図やグラフを見て考える問題につまずきが見られる。
- ・正しい用語や語句、その意味や知識の理解、または地図の見方や場所の探し方について理解につまずきが見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第4学年	関心意欲態度▼23.0 思考・判断・表現▼23.5 技能 ▼17.4 知識・理解 ▼20.6	/	/
第5学年	関心意欲態度▼ 7.7 思考・判断・表現▼ 3.8 技能 ▼ 3.9 知識・理解 ▼ 5.8	(第4学年時) 関心意欲態度▼ 3.1 思考・判断・表現▼ 3.1 技能 ▼ 2.8 知識・理解 △ 0.3	/
第6学年	関心意欲態度▼ 4.6 思考・判断・表現▼ 3.5 技能 ▼ 2.1 知識・理解 ▼ 2.2	(第5学年時) 関心意欲態度▼ 7.2 思考・判断・表現▼ 4.8 技能 ▼ 1.7 知識・理解 ▼ 3.0	(第4学年時) 関心意欲態度▼ 9.4 思考・判断・表現▼ 7.0 技能 ▼ 5.5 知識・理解 ▼ 9.8

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地図記号、販売の種類や特徴などの知識・理解が低い。 ・写真、絵地図などの資料の見方や方位（4方位・8方位）が分かっていない。	・既習事項を自分の言葉でまとめるなど、文章で表現する力が低い。	・グラフなどの資料の読み取りができて、選択肢の意味が読み取ることができず、無回答が多い。 ・記述問題も、無回答が多い。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標値に到達しているか、迫っているものが多い。 ・5学年では、都道府県について学習したことの定着が図れていない。 ・6学年では、工業生産と工業地域について学習したことの定着が図れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を活用したり、技能を使ったりして、考察したり表現したりすることが十分ではない。 ・6学年では自動車をつくる工業の学習において、部品を関連工場で作る理由を考察する問題の正答率が高い。学習した知識が定着して、それを活用して考察をすることができていると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を読み取って課題を解決する記述式の問題において、無回答が多く、自分の考えを表現しようという意欲が不十分である。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会に地図記号や四方位について触れることで、社会科に関する基礎知識の定着を図る。 ・グラフやイラスト等の具体資料では、たくさんの情報を引き出し全員で共有する場の設定をする。 ・資料の読み取りでは、最も高い低いだけでなく、およその数値まで読み取らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人が学習問題を見出せるように導入の工夫（資料の提示の順番・タイミング・大きさ）をし、キーワードを見付けさせることで、文章で表現できるよう指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の学習から、学習のまとめや授業の感想を書かせる活動を行う。 ・様々な社会事例を共有し、学習した内容を生活の中でも確認したり生かしたりすることで学習事項を自分事として捉えるようにし、意欲を高める工夫をする。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会に地図帳を使い、都道府県に触れることができるようにして、都道府県についての知識の確実な定着を図る。 ・様々な形態の資料から読み取れる時間を設定し、確認し合うことで、資料を見る時のポイントを理解させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初や最後には、学んだことをもとにして、社会的事象について予想したり考察したりする機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもってそれを表現できるように普段の学習から、記述問題や授業のまとめを書かせる活動を行う。 ・単元の導入では、教科書や資料集にある資料に加工を加えポイントを焦点化し、問題を捉えやすくする。